

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
4	石河 紘史 友光 直見 中井 潤一郎	使用教科書 「Unicorn 1」 (文英堂) 補助教材 「Cutting Edge 1」 (エミール) 「英文速読ドリル」 (Z会) 「Word Navi 4500」 (啓林館)
○必修 学校必修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

- ・英語を「読む」「書く」「聞く」「話す」という4技能の基礎的な力を定着させる。
- ・自分の考えや気持ちを英語で積極的に伝えようとする態度を養う。
- ・自立した英語学習の習慣を身に付ける。
- ・国際化の進む今日の社会において外国語を学ぶことの意味を理解し、国際的な視野を身につける。

◆主な学習内容・方法

- (1) 教科書・副教材の文章を素材とし、読解、リスニング、音読、要約作成、ディスカッションなど様々な活動を行う。
- (2) 語彙力を伸ばすための小テストを年間を通じて行う。
- (3) 外国人指導員が参加する授業においては、英語で意見や考えを互いに伝え合う、もしくは発表する活動を行う。
- (4) 副読本を読み、本物の英語の文章に大量に触れる。

◆到達目標と評価の観点

- [標準] ・精読、速読など、目的に応じた読解力を身につける。
 ・学習した英語表現や文法事項を活用して、自分の考えや意見を書いたり話したりできる。
 ・センター試験レベルの語彙力が身に付いている。
 ・基本的な英文法が一通り定着している。
- [応用] ・さまざまなタイプの英語の文章を、「より速く」「より正確に」理解することができる。
 ・自分の考えや、文章に書かれていることを、論理的に英語で説明することができる。
- [評価の観点]
 ・上記[標準]の到達目標に基づき、「知識・理解」「表現・運用」「関心・意欲・態度」の観点から評価する。

◆評価の方法

定期考査、提出課題、小テストの成績、授業への参加を総合的に評価する。

◆年間予定授業時間

予定時数	140時間	1学期 (52時間)	2学期 (56時間)	3学期 (32時間)
------	-------	------------	------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・ **UNICORN**、**Cutting Edge** は、必ず予習をして授業に臨む。
 基本的には、①意味の分からない語句を辞書で確認し、②複雑な構造の文の理解を、和訳することなどによって試み、③論理展開を意識して文章全体の内容把握を行う。
 なお、予習の仕方については授業担当者からも別途指示がある。
- ・ **速読ドリル**は初見の文章を素早く大意把握する練習として授業で取り組み、理解した内容を要約してアウトプットする。
- ・ **多読用教材**は全体の内容把握に力点を置き、内容を味わうこと、楽しむことを目的とする。
- ・ **Word Navi**の単語テストは、毎回しっかり準備をしてテストに臨むことが求められる。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	Unicorn (Lesson 1, 2)	1 4	各レッスンの内容について、主に以下の活動を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解 ・ 文法事項の確認、説明 ・ 音読や意見交換などのペア活動、グループ活動 ・ 要約文作成、英語による意見文、感想文などの作成 	文法学習の補助として、英語表現Ⅰの授業のテキスト『ブレイクスルー英文法36章』を扱うことがある。
	5		1 6		
	6	(Lesson 3, 4)	1 6		
	7		6		
2 学期	8	(Lesson 5, 6)	2	同上	文法学習の補助として、英語表現Ⅰの授業のテキスト『ブレイクスルー英文法36章』を扱うことがある。
	9		1 6		
	10		1 6		
	11	(Lesson 7, 8)	1 8		
	12		4		
3 学期	1	(Lesson 9, 10)	1 2	同上	
	2		1 2		
	3		8		

※Cutting Edge、速読英文ドリル、Word Navi の進度については担当者から別途連絡する。